

令和元年度 第47回 千葉県U15 中学校バスケットボール選手権大会 総評

千葉県バスケットボール協会主催の今大会は6月1, 2, 8, 9日の4日間、千葉県立館山運動公園体育館をメイン会場に行われた。昨年度より本大会は、クラブチームチャンピオンや、Bリーグユースチームも参加しており、注目度を増している。さらに、技術の向上に伴い、準々決勝から審判のスリーパーソン制を導入し、より質の高い大会運営を目指した。

男子は、新人戦ベスト4のチームがシード権を守り、新人戦からの連覇を狙う八千代松陰（八千代）を筆頭に、辰巳台（市原）、前原（船橋）、大穴（船橋）が顔をそろえた。準決勝では、八千代松陰 vs 大穴で、王者の貫禄を見せた八千代松陰と、前原 vs 辰巳台の大接戦をものにした辰巳台が決勝進出を決めた。

男子決勝戦は互いにハーフマンツーマンでスタート。第1Q、辰巳台は⑤駒谷のジャンプショットで先制。対する八千代松陰は⑤羽賀のゴール下でやり返す。辰巳台は、⑨長谷川のドライブや⑥永島のゴール下のシュートで攻める。八千代松陰はディフェンスからの速い攻撃で相手のファウルを誘いフリースローを着実に沈めて食い下がる。第2Q、八千代松陰は⑦坂本のスリーポイントでの得点を皮切りに、八千代松陰④大澤らのシュートが当たり、その差を広げていく。辰巳台は、スクリーンプレイを巧みに使い、④大澤のドライブを生かそうとするも、八千代松陰15点リードで後半へ。

後半戦序盤、八千代松陰が攻めあぐむ中、辰巳台は⑥永島のゴール下、⑤駒谷のジャンプショット、④大澤のドライブなどで次々と加点し差を詰めていく。八千代松陰は、⑥今野のドライブなどで粘る。最終Q、八千代松陰⑤羽賀が3本連続で速攻を決めると、流れは八千代松陰に。辰巳台も⑥永島のゴール下を中心に粘るも、その差は詰まらず試合終了。八千代松陰が新人戦に続き優勝を決めた。

女子のベスト4には、新人戦のチャンピオン翔凜（木更津・袖ヶ浦・君津）を筆頭に、リベンジを狙う昭和学院中（市川・浦安）、見明川（市川・浦安）、そして激戦区船橋地区を制した習志野台（船橋）が勝ち上がった。準決勝は、見明川 vs 昭和学院、翔凜 vs 習志野台のカードとなった。決勝に駒を進めたのは、昨年度のチャンピオン昭和学院と、新人戦のチャンピオン翔凜であった。

女子決勝戦は第1Q、翔凜が⑭高木のドライブ、⑤菊地のドライブで得点を重ねる。一方、昭和学院は⑥野本の高さを生かしたプレーを中心に得点を重ねて食らいつく。第2Qに入り、翔凜の鍛えられたディフェンスが機能し、流れをつかむ。翔凜⑪川井田のジャンプショットや⑬米須の3P等で得点を重ねリードを広げる。昭和学院も果敢にゴールに向かうも、翔凜のディフェンスにはばまれる展開。

後半に入り、翔凜は⑭高木のドライブや⑬米須のドライブを中心に着実に得点を重ねる。一方、昭和学院もディフェンスリバウンドからの速攻で食い下がる。第4Qに入り昭和学院はディフェンスのプレッシャーを強め、積極的にボールを奪い点差を詰めるが前半のリードを埋めることができず試合終了。翔凜が新人戦に続き優勝を決めた。

本大会は例年、会場を引き受けてくださった地区の先生方、生徒をはじめ、バスケットボールにかかわる多くの方々に支えられての運営となっている。雨の中、駐車場の案内整理をはじめ、TO、接待など、意欲的に取り組んでくださった開催地のバスケットボール部の顧問の先生方、生徒たちに、連盟一同、感謝申し上げたい。

【大会結果】

男子 優勝	八千代松陰中学校	女子 優勝	翔凜中学校
準優勝	市原市立辰巳台中学校	準優勝	昭和学院中学校
第3位	船橋市立大穴中学校	第3位	船橋市立習志野台中学校
	船橋市立前原中学校		浦安市立見明川中学校